ninoyu satoshi
発行所:自由民主党京都府参議院選挙区第三支部
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ハウスドゥ四条ビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人:二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館921号室
TEL.03-6550-0921 FAX.03-6551-0921

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字:栢木寛照

えとす
平成27年 No.276 5月号

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

安全保障関連法案が国会に提出
日米同盟の強化で平和と繁栄の維持

安倍首相今国会成立に強い意欲

統一地方選挙でも自民党が根強い力を発揮し、多くの地方議会で第1党の座を確保した。今や安倍政権の基盤は、盤石である。安倍首相は4月26日から、5月3日まで、オバマ大統領との首脳会談のため、アメリカを訪問、日米の同盟強化のために、幅広く意見を交わした。その中で、アジア太平洋の平和と繁栄を確保していく上で、日米同盟が今後とも主導的役割を果たして行くことを確認した。自民、公明は安倍政権の意向を受けて、集団的自衛権行使を可能にする安全保障法案の党内了承の手続きをとった。14日、政府は安全保障関連法案を閣議決定、15日に衆議院に提出した。安倍首相は出来るだけ早く、審議入りして欲しいと野党に呼びかけたが、野党は、戦後最大の安全保障政策の転換で国民の理解が必要、外国の首脳に法案成立を約束するとは国会軽視だと反発、政府の思惑通りには事が運ばない。政府は国会を延長して、今国会の成立を期しているが、前途に多くの曲折が予想される。

安全保障法案について説明する安倍首相、国家基本政策両院合同審査会

恒心

★今や、老いも若きも、男女を問わず携帯電話をもつ時代になった。通信手段、検索道具として非常に便利な道具である。携帯なしで、一日も過ごすことが出来なくなってしまったのも事実である。★便利であるが、十分自覚してこの機器を使いこなさないと、これに振り回され、依存症に陥ってしまうことになる。多くの日本人、特に若い人にはそれに近い人が多く見られる。★かって、電車の中で、大の大人が漫画を読み耽っていたが、最近は、それに代わって、携帯を操作する人で一杯である。たまに携帯の画面を覗くことがあるが、ゲームやアニメに夢中になっている。一体、何がそんなに面白いのかと疑ってしまう。★四六時中、携帯をいじくり回すのは、世界共通なのであろうか。どうも日本人に顕著にみられる特性かも知れない。困ったものである。さる4月、信州大学の学長が、入学式で若者の携帯依存症を心配して「スマホやめますか、信大生やめますか」という挨拶をした。★携帯には、人間の思考力、想像力を弱め、知性、個性を喪失させる側面がある。俗な言葉で言えば、人間を馬鹿にしかねない道具である。かって、各家庭にテレビが普及し始めた頃、評論家の大宅壮一氏が「一億総白痴化」という造語で警鐘を発したが、それと同様の現象が進んではいないか。★携帯にしろ、最近話題になっているドローンにしろ、人間社会を便利にするために発明され、開発されたものに人間が振り回されている感がする。時と場所をわきまえて、機器を使用する自制心、自律心を養うことが、今求められている。

総務副大臣の公務の一コマ

管区行政評価局長・総合通信局長等合同会議

4月16日総務省

第4回自治体主導の地域エネルギーシステム整備研究会

5月11日都市センターホテル

衆議院地方創生に関する特別委員会で佐藤ゆかり議員の質問に答える二之湯議員

5月15日衆議院第1委員会室

待ったなしの参議院選挙制度改革　無視できない最高裁判決

平成22年、25年に執行された参議院選挙は1票の格差が著しく、法の下における平等に反するという訴訟が行われた。最高裁は、違憲状態に近く、極めて不平等であるとの、厳しい判決を言い渡した。従って、参議院が思い切った、抜本的な改革をしないと、最高裁は無効判決を出すかも知れない。来年の参議院選挙まで、1年余りとなり、6月中には、改革案をまとめ、公職選挙法を改正しなければならない。先ず、最大会派の自民党が改革案を纏めなければ、他の会派との交渉も出来ない。参議院自民党議員団では、15、19の両日、議員団総会を開き、各議員の意見を聴取した。先の最高裁の判決は無視できない、思い切った改革を示せ、人口減少社会に対応する為にも都道府県単位の選挙区制度は絶対に維持するべきであると主張する人など、様々である。溝手会長はじめ執行部は同士の救済の為、県と県の合区は避けたい意向である。しかし、選挙制度協議会の前の座長であった脇雅史議員から出された「①改革案は、平成26年11月の最高裁判決の趣旨に沿ったものでなければならない、②改革案の考え方について、国民に十分説明できるものでなければならない」との意見は尊重したいと溝手会長は答えた。良識の府と言われる参議院らしい改革をすることが強く望まれる。

京都市会議長に津田大三氏　市会史上初の親子議長が誕生

4月18日、統一地方選挙後、初めての京都市会が開かれた。法律の定めにより、議会は最初に議長を選出しなければならない。京都市会は、慣例で第一党から出すことになっており、自民党は津田大三氏（45）を議長候補に擁立した。投票の結果、共産党を除く全会派の賛成で津田氏が第82代議長に選出された。津田氏は、伊吹文明衆議院議員の秘書を務め、父親の幹雄氏の引退後、平成15年初当選した。先の統一選挙では、トップで4期目の当選を果たした。父親の幹雄氏は、第54代議長を務めた。親子で議長に就任するのは、京都市会史上初めてのことである。津田氏は議長就任に際し、「本年は、地方創生の元年と言われています。市民の代表である議会が、市民の代表として、相応しい、あるべき姿となるように努めてまいります」と挨拶した。

市会本会議場で就任挨拶する津田新議長

京都府議会議長に植田喜裕氏　府、市会議長とも中京区

統一選後、初の京都府議会が、18日に招集された。先ず議長を選出する必要がある。憲政の常道で、議長は第1党から出る。自民党には有資格者が多く、議員団の慎重な話し合いの結果、植田喜裕氏（65、中京区）が選ばれた。22日、府会本会議で、植田氏は第78代京都府議会議長に就任することになった。植田氏は相楽郡南山城村出身、京都産業大学を卒業後、民間会社に勤めた後、植木光教、その後西田吉宏両参議院議員秘書を経て、平成7年に中京区より、府議会議員に初当選、現在6期目。植田氏は、就任に当たって、次のように抱負を語った。「地方創生が本格化し地方公共団体の責務が大きくなる一方、府政の課題も山積しています。二元代表制における議会の責任をしっかりと果たす為の議会改革に取組み、政策の提言と実現に努めます」

就任挨拶で議会改革の決意を語る植田新議長

各市議会の新人議員抱負を語る

4月26日、第2次統一地方選挙が終わった。自民党の公認、推薦を受け、激戦を戦い抜いた各市の新人議員が今後の市政に臨む抱負を語った。

宇治市議会

中村麻伊子

この度、多くの方々のお力を頂き初めての当選をさせて頂きました。心より御礼を申し上げます。私はそこに住む方々が豊かで安心した生活ができるよう、みなさまの声、そしてみなさまの思いをカタチにしていくことをお約束させて頂きました。今後は、お約束を守るべく地域のみなさま方のお声をしっかりと受け止め、市政へと反映できるよう努めて参ります。今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げま

宇治市議会

木本裕章

この度は、多くの方々のご支援に支えられ、初当選させていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。29歳と宇治市での最年少議員であり、フットワーク軽く、市民の皆様の声を伺って回ります。そして、市民の皆様から頂いた声を市政に届けるのみならず、地方創生を掲げる政権与党自民党の一員として、国と府とも連携しながら、宇治の発展に尽力してまいります。今後とも、ご指導を宜しくお願い致します。

城陽市議会

谷　直樹

「地域につながりを！城陽に元気を!」の合言葉に新人として、地元・地域の皆さまをはじめ、多くの党員の方々に支えて頂き初当選させて頂きました。安心・安全でみんなが住んでよかった、これからも住み続けたいと思えるような街づくり、住民目線で住民のための街づくりを目指して、みなさまの思いを市政に届け、新しい風を議会に！そのような思いで、初心忘れることなく全力を尽くしてまいります。今後ともご指導をよろしくお願いいたします。

城陽市議会

一瀬裕子

この度、多くの方々にお支え頂き、初当選させて頂きました。心より感謝申し上げます。地方経済の活性化には、出産・子育て支援が不可欠です。子どもを安心して産み、育てられる城陽、「母になるなら城陽」と思ってもらえるような街づくりのため、「子育てから始まる未来の城陽のために」をモットーに、子育て世代の代表として、母親目線・女性目線を活かし・城陽市の活性化に全力で取り組みます。今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

城陽市議会

小松原一哉

この度、多くの皆様より多大なご支援を賜り、初当選させて頂きました。心より御礼申し上げます。「安心・安全なまちづくり」「人がつながる・地域がつながるまちづくり」「未来へつながる・世界へ誇れるまちづくり」をモットーに、わが町城陽の為に一歩一歩邁進してまいる所存です。決して初心を忘れることなく、持ち前の気力・体力でロングランで頑張ってまいります。皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

八幡市議会

中村正臣

今回、多くの皆さんのお力添えで初当選させていただきました。私は市議並びに八幡支部幹事長として、支部長中川きよし京都府議会議員共々堀口ふみあき八幡市長を支え、八幡市のより一層の発展に尽力いたしたいと思います。

「安心・安全な未来あるまちづくり」を掲げ、市消防団副団長の経験を活かし、災害に強い街づくりの推進に努めたいと思います。そして、医療の安心、福祉の安心、子供さんたちが八幡に生まれて良かったと思えるようなまちを目指したいと思います。

どうか、中村まさおみにご指導、ご支援賜りますようお願いいたします。

八幡市議会

國島泰則

私は、商工会活動の発展と地域の小規模・零細企業の振興に関わって参りました。市内業者の現状は、厳しい経営環境にあり、会員の半数以上が事業の継承は出来ない状況です。低利融資などの支援施策があるものの、先行き不安などで、十分に活用できていないのが実態です。これらの課題解決に取り組み八幡市の活性化を推し進めることが、私に与えられた使命と自覚し、「ふるさと八幡を元気にする」やわたでできることはやわたでやる、をモットーに活動して行きます。皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。

八幡市議会

田島祥充

衆議院議員安藤裕事務所を1月末に退職し、準備を進め過日の八幡市議会議員選挙にて、初当選させていただきました田島よしみつと申します。二之湯智先生をはじめ本当に多くの皆様のご支援を賜り、感謝申し上げます。私自身4人の子を持つ親として、20年30年後の八幡市の未来のためにしっかり汗をかいて参りたいと存じます。今後とも皆様にはご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い致します。

森春生後援会長を悼む

さる4月30日、後援会長の森春生さんが亡くなられました。昭和62年、右京区から市会議員に出馬を決意した時、森さんは、会社の一室を提供して下さり、私はそこで選挙の準備を始め、幸いにも当選することが出来ました。初代後援会長の藤本康雄氏の後、平成5年11月から、森さんは後援会長を務めて下さいました。私は頭が高い、生意気だと人からよく批判されました。笑顔を絶やさず、温厚な森さんは、周囲の人達に気配りをして、私の足らざるところを補って下さいました。微力な私が、こうして国政において、活躍出来るのも、森さんのお陰だと感謝しています。今や「京つけものもり」は、押しも押されもせぬ存在ですが、それまでは苦労の連続だったと想像致します。昭和25年、中学校を終え、まさに裸一貫で西陣の京漬物の老舗「児島」に丁稚奉公され、約12年間修業を積まれました。昭和37年、独立して「京つけものもり」を創業、その後、順調に事業が発展し、今日の隆盛を見るに至りました。しかし、森さんは利益のみを追い求める人ではなく、京都府漬物協同組合理事長をはじめ、地元大映通り商店街の理事長、亀岡商工会議所副会頭を務め、全体の為に奉仕する人でもありました。各方面での活躍の結果、平成25年の春の叙勲において、旭日単光章を受章されました。高齢化時代の今日、80才で幽明境を異にされるのは、少し早い気が致します。しかし、これも天命だとあきらめるしかありません。森さんに感謝の気持ちを捧げ、衷心よりご冥福をお祈り致します。

参議院議員　二之湯　智

京都事務所の新しい体制

10年間二ノ湯参議院議員の秘書を務めた森田守君が、4月の統一地方選挙に立候補、京都市会議員に当選した。その後任として、森口亨君（46）が就任した。森口君は、舞鶴高専を卒業、平成16年から24年まで、京丹後市の市議会議員を2期8年間務めた。二ノ湯参議院議員の京都事務所は、以前からの秘書である奥井寛之（46、同志社水泳部の主将経験者）、森口亨両君が中心となって、二ノ湯議員の政治活動を支えることになる。

身辺雑記

一、総務省の「地域イノベーション有識者懇談会」で、今後、イノベーションの鍵は、ロボットとドローンであると、座長の小宮山元東大総長が話をされた。その直後、首相官邸の屋上にドローンが落下した。何とも皮肉な話である。

一、NHK籾井会長のタクシー料金問題がようやく収まってきたと思ったら、今度はクローズアップ現代でのやらせ事件。NHKの問題が、次々と浮上して、留まる所を知らない。高市総務大臣も頭の痛いことである。

一、大阪都構想の賛否を問う住民投票が行われた。先の統一選挙を大きく上回る投票率で関心の高さを示した。結果は、都構想に大阪市民がノーの判断を下した。さて、近畿の雄・大阪の未来はどうなるのか。隣接地京都も気になるところだ。

一、今、四条通りの歩道拡幅工事で、車の渋滞がひどく、各方面から苦情が殺到している。四条通りは幹線道路である。片側一車線だけでは、常に渋滞になってしまう。市民に十分な説明をして、理解を求める必要がある。

一、長男の子供が潮干狩りに行きたいと言うので、横浜の金沢八景方面に出かけた。潮干狩りは、小学校の行事で、桑名の浜に出かけて以来である。小一時間で、孫も私も網袋に半分ぐらいアサリ、シジミが獲れた。いい気分転換になった。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。

毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、ぜひお申し込み下さい

年間購読料　1200円

郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。

是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1口1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228

「日本真生塾」　教科書問題特別講義

第57回特別例会

6月22日(月) 18時30分～21時

70年前に始まった対日占領政策により日本の教育内容は大きく変えられた。
「歴史認識」についてその問題点を考えてみよう。

講師：岡本幸治 塾長
場所：龍谷大学アバンティ響都ホール
（京都駅八条口前アバンティ9F）

<お問い合わせは事務局へ>（担当：奥井寛之）
日本真生塾事務局（二之湯事務所内）TEL：075-351-2228／FAX：075-315-2310
詳しくはFacebookページをご覧ください。https://www.facebook.com/nipponshinsei
日本真生塾　塾長　岡本幸治